

佐賀県研究成果情報（作成 2026 年 2 月）

[情報名] 高温耐性を有する黄色の夏秋スプレーギク新品種「佐賀 SK36 号」および「佐賀 SK37 号」の育成

[要約] 黄色の夏秋スプレーギク「佐賀 SK36 号」および「佐賀 SK37 号」は、夏期の高温環境下においても開花遅延が生じにくく高温耐性に優れ、7 月から 10 月上旬までの幅広い開花作型における電照抑制栽培に適用可能である。

[キーワード] スプレーギク、高温耐性、電照抑制栽培、開花遅延

[担当] 農業試験研究センター 野菜・花き部 花き研究担当

[連絡先] 0952-45-2143・nougyoushikensenta@pref.saga.lg.jp

[分類] 普及

[部会名] 花き

[専門] 育種

[背景・ねらい]

佐賀県の花き栽培において、キクは栽培面積および生産者数が第 1 位の最重要品目である。その用途の多様化や栽培が容易な点から、スプレーギクの生産が徐々に増加している。しかし、近年の夏期の高温により開花遅延がみられるとともに、一部で奇形花（貫生花等）が生じるなど計画生産に影響を及ぼしており、上記の環境に適する電照抑制栽培が可能な夏秋スプレーギクの品種が限られている。

そこで、高温耐性を有し、電照抑制栽培が容易な夏秋スプレーギク品種を育成する。

[成果の内容]

1. 「佐賀 SK36 号」および「佐賀 SK37 号」は、佐賀県農業試験研究センター育成で高温耐性を有する黄色のスプレーギク系統「佐賀 31 号」を種子親、黄色の夏小ギク品種「青葉」を花粉親として、2017 年に交雑し得られた実生個体から選抜した品種である。
2. 「佐賀 SK36 号」は、花形が一重咲き、花卉の色がレモンイエロー（RHS カラーチャート Yellow 6A）であり、花卉の形がやや剣弁である（図 1A）。
3. 「佐賀 SK37 号」は、花形が半八重咲き、花卉の色が濃黄色（同上 Yellow 7A）であり、小輪で多花である（図 1B）。
4. 両品種は、夏期の高温環境下においても電照消灯から 52～54 日程度で安定して開花する特性を有し、開花遅延が生じにくい（表 1）。
5. 両品種は、7 月から 10 月上旬までの幅広い開花作型における電照抑制栽培に適用でき、切り花長や 80cm 調整重などの切り花品質を十分に確保できる（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 両品種ともに自然開花期は 5 月下旬である（データ略）。また、7 月から 10 月上旬までの開花作型において、奇形花の発生は極めて少ない。
2. 「佐賀 SK37 号」は小輪で多花であることから、小ギクとしても活用できる。
3. 両品種ともに、栽培は佐賀県に限定される。
4. 本試験は、佐賀県農業試験研究センター内の無加温ビニルハウス（6m間口、灰色低地土）で行った。
5. 両品種は、品種登録出願公表済みである（2025 年 6 月 17 日第 37879 号（「佐賀 SK36 号」）および第 37880 号（「佐賀 SK37 号」））。

[具体的なデータ]



図1 夏秋スプレーギク新品種「佐賀SK36号」(A)および「佐賀SK37号」(B)

表1 8月上旬開花作型²⁾における「佐賀SK36号」および「佐賀SK37号」の開花特性

品種名	試験年	消灯時 草丈 (cm)	平均 開花日	到花 ^Y 日数 (日)	切り花 長 (cm)	葉数 (枚)	一次 分枝数	総花蕾 数 (個)	花径 (cm)	茎径 (mm)	85cm ^X 調整重 (g)	フォー メー ション ^W	奇形花 ^V 発生 程度	
佐賀SK36号	2024	37.0	8月6日	53	a	89.6	41.2	9.0	10.5	3.9	5.0	50.6	A,B	0.0
	2025	33.7	7月28日	54	a	90.0	38.4	7.8	10.6	4.0	5.2	43.3	A,B	0.0
佐賀SK37号	2024	34.6	8月7日	54	a	84.3	37.7	10.8	15.2	3.7	5.4	51.7	A,B	0.0
	2025	33.9	7月26日	52	a	84.3	33.8	10.0	15.6	4.4	5.4	66.4	A,B	0.0
セイマオン (対照)	2024	35.5	8月14日	61	b	99.9	34.0	7.7	8.9	5.0	5.4	48.7	A	0.0
	2025	31.4	8月4日	61	b	89.0	31.8	8.5	10.9	6.1	5.9	61.4	A	0.0

¹⁾直挿し:2024年5月1日、摘心:5月14日、電照消灯:6月14日、電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):24.5℃

直挿し:2025年4月17日、摘心:5月8日、電照消灯:6月4日、電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):23.3℃

²⁾電照消灯から開花までに要した日数、Tukeyの多重検定により異文字間に5%水準で有意差あり

³⁾切り花を長さ85cmにカットして下葉を30cm除去した時の重量

⁴⁾スプレーギクの花序の形態(図2を参照)

⁵⁾奇形花の程度:0(無)、1(軽)、2(中)、3(甚)

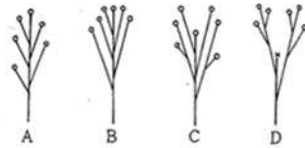


図2 スプレーギクのフォーメーション

表2 各開花作型における「佐賀SK36号」および「佐賀SK37号」の開花特性

作型 ²⁾ (試験年)	挿し芽	定植	摘心	消灯日	品種名	平均 開花日	到花 日数 (日)	切り花 長 (cm)	80cm 調整重 (g)	奇形花 発生 程度
7月開花 (2020)	3月12日	3月30日	4月9日	5月19日	佐賀SK36号	7月9日	51	99.3	68.1	0.0
					佐賀SK37号	7月8日	50	97.1	71.6	0.0
8月開花 (2020)	4月9日	4月28日	5月12日	6月16日	佐賀SK36号	8月4日	49	110.1	50.6	0.0
					佐賀SK37号	8月6日	51	100.4	68.0	0.0
9月開花 (2020)	5月15日	6月2日	6月11日	7月21日	佐賀SK36号	9月8日	49	94.7	55.2	0.0
					佐賀SK37号	9月13日	54	87.7	64.4	0.0
10月開花 (2021)	6月18日	7月5日	7月15日	8月19日	佐賀SK36号	10月4日	46	95.1	53.1 ^Y	0.0
					佐賀SK37号	10月6日	48	82.8	63.2 ^Y	0.0

¹⁾7月開花作型における電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):19.8℃

8月開花作型における電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):22.5℃

9月開花作型における電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):24.8℃

10月開花作型における電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):21.7℃

²⁾10月開花作型は85cm調整重のデータ

[その他]

研究課題名: 花き産地拡大のための県オリジナルの新品種等の育成及び栽培技術確立

予算区分: 県単

研究期間: 2020年度~2024年度

研究担当者: 坂本健一郎、中島治、松崎颯大、大坪亜希子、仲原芳美、宮崎雄太(原稿執筆者)

発表論文等: 園芸学会令和7年度春季大会 ポスター発表